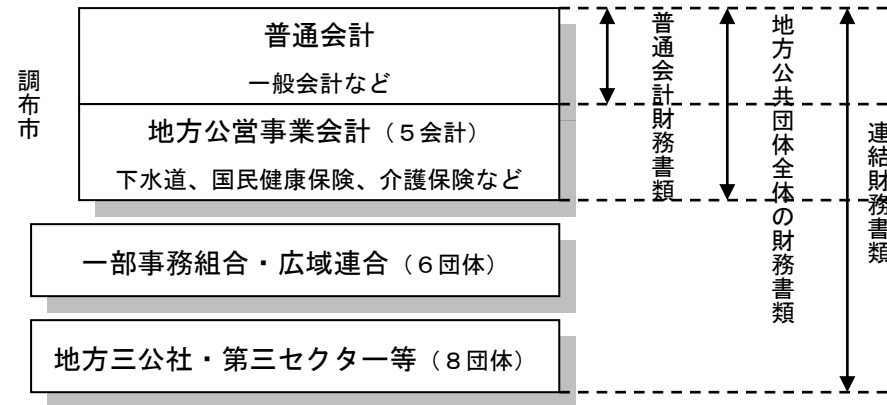


財務書類 4 表からみた調布市の財政

調布市では、財政状況をより正しく把握するために財務書類 4 表を作成しました。行政改革を推進し、健全な財政運営を行うための分析に活用していきます。

連結財務書類 4 表とは？



財務書類とは、民間企業の考え方を基に作成した市の決算書です。財務書類にはいくつかの作成方法がありますが、調布市では「総務省方式改訂モデル」という作成方法に基づいています。

財務書類は対象とする範囲によって左図のように 3 つに分けられます。連結財務書類では調布市だけでなく出資している法人や加入している組合などの関係団体も含まれます。

財務書類 4 表とは貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書を指します。以下、各々の財務書類について見ていきます。

貸借対照表とは？

貸借対照表はどれほどの資産や負債を持っているかを示すものです。調布市ではこの 1 年間で資産が増えています。負債については、引き続き減らしており、将来の支払いを減らしながら市民の皆さんに行政サービスを提供するための「もの」を増やしています。

連結貸借対照表

単位：万円（百万円未満は四捨五入）

	資産の部			差額	負債の部			差額
	26年度	27年度			26年度	27年度		
1. 公共資産	3051億3800	3062億6100	11億2300	1. 固定負債	555億5700	541億4300	△14億1400	
(1) 有形固定資産	3050億8100	3062億2800	11億4700	(1) 地方債等	468億6700	455億6000	△13億 700	
(2) 無形固定資産	700	1100	400	(2) 退職手当引当金	76億8700	78億8900	2億 200	
(3) 売却可能資産	5000	2100	△2800	(3) その他	10億 300	6億9500	△3億 800	
2. 投資等	157億2600	160億8900	3億6300	2. 流動負債	55億1400	55億 700	△700	
(1) 投資及び出資金	3億8900	3億8900	0	(1) 翌年度償還 予定地方債等	36億2200	35億9900	△2300	
(2) 貸付金	2億4200	2億2100	△ 2100	(2) その他	18億9200	19億 800	1500	
(3) 基金等	134億8400	141億4700	6億6300	負債合計	610億7100	596億5000	△14億2100	
(4) その他	16億1100	13億3200	△2億7900	純資産の部				
3. 流動資産	140億1600	151億 600	10億9100	純資産合計	2738億 900	2778億 600	39億9700	
(1) 資金	126億 900	137億1300	11億 400	負債及び純資産合計	3348億8100	3374億5600	25億7600	
(2) 未収金	15億 800	15億 800	0					
(3) その他	△1億 100	△1億1500	△1300					
4. 繰延勘定	0	0	0					
資産合計	3348億8100	3374億5600	25億7600					

行政サービスを提供するための「もの」

負債：将来の支払

純資産：代金の支払がすでに済んでいる「資産」の大きさ

普通会計ベースの近隣市比較

資産	負債	資産	負債
132 万円	21 万円	144 万円	25 万円
	純資産		純資産
	111 万円		119 万円

調布市の市民 1 人当たり貸借対照表
(平成 27 年度)

近隣市(平均)の市民 1 人当たり貸借対照表
(平成 27 年度)

近隣市(平均)の市民 1 人あたりの貸借対照表を比較すると、資産も負債も小さいことがわかります。調布市は将来世代に過度な支払義務(負債)を残していないことが特徴と言えます。なお、近隣市は多摩 26 市の類似団体のうち比較可能な団体の平均としています。

行政コスト計算書とは？

平成 27 年度連結行政コスト計算書

単位：万円

	金額
経常費用	1395億1000
1. 人にかかるコスト	146億9000
(1) 人件費	136億1600
(2) 退職手当引当金繰入	5億9300
(3) 賞与引当金繰入額	4億8200
2. 物にかかるコスト	282億6700
(1) 物件費	206億5900
(2) 維持補修費	9億3700
(3) 減価償却費	66億7100
3. 移転支的コスト	898億7600
(1) 社会保障給付	696億6100
(2) 補助金等	164億9900
(3) その他	37億1600
4. その他のコスト	66億7700
(1) 公債費(利払)	5億7300
(2) その他	61億 400
経常収益	494億8400
使用料・手数料等	494億8400
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)	900億2600

普通会計ベースの目的別内訳

有形固定資産 目的別内訳

単位：万円

	金額	割合
生活インフラ・国土保全	1706億7700	62.0%
教育	608億6100	22.1%
福祉	159億7500	5.8%
環境衛生	43億 700	1.6%
産業振興	1億1200	0.0%
消防	12億8700	0.5%
総務	220億2300	8.0%
合計	2752億4200	100.0%

○受益者負担比率(経常収益/経常行政コスト) = 4.1%
○純経常行政コスト/(一般財源等+補助金等受入のうちその他一般財源等) = 98.0%

経常行政コスト 目的別内訳

単位：万円

	金額	割合
生活インフラ・国土保全	63億4200	8.6%
教育	86億4700	11.8%
福祉	401億9800	54.6%
環境衛生	50億1700	6.8%
産業振興	8億5600	1.2%
消防	27億 600	3.7%
総務	88億2300	12.0%
議会	5億4500	0.7%
支払利息	4億3200	0.6%
回収不能見込計上額	1億7900	0.2%
その他行政コスト	△1億8000	△0.2%
合計	735億6500	100.0%

行政コスト計算書には、平成 27 年度に調布市と関係団体がサービスを提供するために費やしたヒト・モノ・カネの金額が載っています。経常収益には公営住宅の家賃などサービスの対価だけが計上され、税金は計上されません。

○人にかかるコスト：職員の給料や手当額など
○物にかかるコスト：消耗品や小型の備品の購入費、臨時職員の人件費や委託費など
○移転支的コスト：福祉関係の給付費や消防・清掃などの業務についての負担金、補助金や助成金など

純資産変動計算書とは？

純資産変動計算書とは、平成 27 年度に純資産がどのように増減したかを示しています。

平成 27 年度連結純資産変動計算書

単位：万円

	金額
期首純資産残高	2738億 900
純経常行政コスト	△900億2600
一般財源等	
地方税	462億 800
地方交付税	6500
その他行政コスト充当財源	55億2700
資産評価替・無償受入	0
その他	422億2300
期末純資産残高	2778億 600

資金収支計算書とは？

資金収支計算書とは、現金の流れを示しています。性質に応じて、「経常的収支」「公共資産整備収支」「投資・財務的収支」に区分されます。

平成 27 年度連結資金収支計算書

単位：万円

	金額
1. 経常的収支	119億
2. 公共資産整備収支	△15億4800
3. 投資・財務的収支	△92億6300
当期収支	10億8900
期首資金残高	126億 900
経費負担割合変更に伴う差額	1500
期末資金残高	137億1300

左図は調布市の主な会計である普通会計を分析したものです。有形固定資産を見ると、調布市は「生活インフラ・国土保全」の有形固定資産が多いことがわかります。「生活インフラ・国土保全」には街路や道路、公園などが含まれています。また、経常行政コストを見ると、「福祉」にかけられているコストが多いこともわかります。福祉には児童福祉や生活保護にかかるコストが含まれています。